

日本財団・大阪大学感染症対策プロジェクト（全体像）

目的

感染症による将来の脅威に備え、人々のいのちを守り、社会・経済活動の維持に貢献することを目指して、感染症に関する研究、人材の育成、社会への情報発信及び研究成果の社会実装を推進する。

【課題①】

社会・経済活動の維持

【課題②】

感染症の予防と治療

【課題③】

医療崩壊の阻止

課題解決に向け、大阪大学に感染症総合教育研究拠点を構築
(2021年4月設置)

アクションプラン1

1. 情報発信・リテラシー向上

科学的エビデンスに基づいた
信頼性の高い情報発信

政策分析と提言、情報発信（日英）

オンライン情報配信（年10回）

公開市民講座（毎年）



アクションプラン2

2. 感染症研究基盤構築

予防、診断、治療等の
迅速な開発と普及のための
基礎研究成果の創出

ヒト生体防御システムの基本原理の解明

病原微生物に対する免疫応答機構の解明

病原微生物の基礎研究と
その制御法の開発

感染症克服に向けた分野横断型研究
(知のプラットフォーム：オール阪大研究)

アクションプラン3

3. 医療人材育成

医療従事者等の教育訓練や
感染症対策リーダー育成

医療従事者等1万人への教育訓練等

若手医師育成海外実習等（毎年）

感染・免疫国際フォーラム（毎年）

最先端免疫学国際シンポジウム（毎年）

